

田浦中「わくわく家庭学習」の手引き

田浦中学校では面白く、分かりやすく、生徒がつながる「わくわく学習」に取り組んでいます。「わくわく学習」で大切なのは、先生の話や友達の意見を聞くばかりではなく、「なぜだろう、どうしてだろう、こうすればどうだろう」という自分の考えを持って授業に積極的に参加することです。



「わくわく学習」の両輪は授業と家庭学習です。この手引きを参考に自分の家庭学習を見直し、わくわくする授業をつくっていきましょう。

※手引きの空欄には自分で言葉を入れましょう。

1 勉強は何のためにするのでしょうか？

将来のため。人生を楽しくするため。好奇心を満たすため。人によって様々な答えがあります。しかし、勉強をしなくても良いという答えは無いようです。「学問とは、人間はいかに生きていくかを学ぶものだ。」吉田松陰
勉強は何のためにするのでしょうか？

【私の名言】

2 家庭学習の意義

①学習内容が定着します

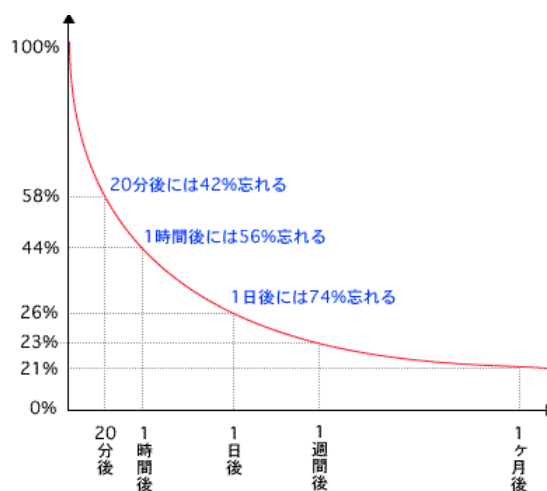
授業で習ったことを復習することにより、習熟と定着を図ることができます。（忘却曲線を参考）

②授業でわくわくします

予習をすることで、疑問をもって授業に臨むことができます。疑問が解決できると、わくわくできます。

③学ぶ習慣がつかます

家庭学習を毎日少しでも続けることで、やがて、自ら進んで学ぶ習慣がつかます。朝起きたら顔を洗うように学ぶことが当たり前になります。他のことも継続できるようになります。



④がまん強さ、根気強さ、集中力がつきます

私の家庭学習の最大の敵は

です。

この誘惑に打ち勝ち、家庭学習に取り組むことで、がまん強さ、根気強さ、集中力がつきます。そのためには勉強の時間が来たら、

等の家族全員の協力が必要です。

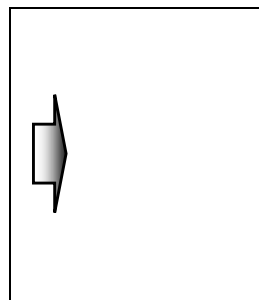
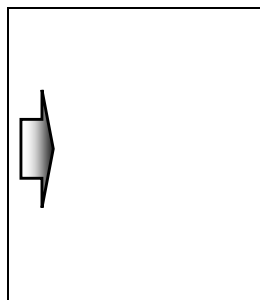
3 家庭学習を習慣化させよう

家庭学習は継続することが大切です。家庭学習を継続させる方法の1つが4点固定（早寝、早起き、朝ご飯、家庭学習の時間を決めて取り組むこと）で生活リズムを整えることです。

①平日の家庭学習のスケジュールを立ててみましょう（2時間以上）

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②家庭学習に入るまでのルーティンを決めてみましょう



4 復習をしよう

学習したことは、時間が経過するにつれて忘れていくものです。定着させるには繰り返し学習（復習）が効果的です。こんな方法はどうでしょう。

- ①黒板に黄色や赤色などで書かれた重要語句や文法（英語や国語）、公式（数学や理科）などを何回もノートなどに書いてみる。
- ②英語や国語では習ったところを音読する。
- ③授業の板書をノートに再現する。
- ④3年生は3年生の学習内容の復習と1・2年生の学習内容の復習を両立させるようにしましょう。そのために、例えば、平日は3年生の復習、休日や長期休業中は1・2年生の復習をするなど工夫しましょう。【先生からのアドバイスを書いてみよう。】

5 予習をしよう

- ①次回学習するところを前日にせめて読んでおきましょう。内容が分かっていると授業にもスムーズに入れます。
- ②重要語句（太い字で書いてある語句）を資料集や用語集や辞典などで調べておきましょう。【先生からのアドバイスを書いてみよう。】

6 宿題は期限内に提出しよう

多くは、理解を深めるために最低限やっておくべき内容が宿題として出されます。期限を守って、必ず行い丸付けまでしましょう。

1・2年生は、今日習った教科の復習を基本にした家庭学習を宿題としています。友達の取組（ノート）を参考に、家庭学習を充実させましょう。

7 テスト勉強に燃えよう

テスト範囲が出されたら、学習計画をつくりましょう。計画的に全範囲を2回はできるような計画がよいでしょう。

一夜漬けは、その場しのぎにしかありません。数年後の進路決定（入試等）を見越して勉強しましょう。

友達と目標時間を決めるなどの取組も効果的です。



8 家庭で取り組めること

家族と相談し、できることに取り組んでみましょう。

- 毎日、家庭学習を始める時間を固定する。
- メディア（テレビ・パソコン・スマホ等）の約束事を決め、厳守する。
- 授業のノートを見てもらう。（点検する。ではありません。）
- 家族で読書をする。
- 新聞を読む。ニュースを見る。
- 日記をつける。
- ストップウォッチやタイマーを用意し、実際に学習した時間を計る。

9 ○○先生の家庭学習法

先生方が中学生だった頃の家庭学習法を聞き取りました。覚えるべきことは徹底して覚えたという先生がほとんどのようです。

※やれるかなと思う取組の○に色を塗ってみましょう。

- 授業中に重要語句は3回書いてその場で覚えるようにしていました。
- とにかく書いて覚え、短くなった鉛筆をピンに貯めていました。どのくらい勉強したかが目に見えて、やる気が出ました。
- 寝る前に布団の中で今日の家庭学習内容を思い出すようにしていました。思い出せなかったら、起きてまた勉強しました。
- 単語カードを持ち歩きました。トイレにも用語を貼って覚えました。
- ビニール袋に重要プリントを入れてお風呂に持ちこみ、浸かる間も惜しんで覚えました。（今ならパウチが良いかも。）単語は、発音しながら書いて覚えました。
- テレビの近くに常に地図帳（小学校の時の地図帳）を置き、ニュース等を見る時はすぐに地図で場所を確認しました。
- 国語の新しい教科書は、もらった日の夜に読んでしまいました。読書を週1冊していました。
- 授業で学習した内容を自分なりの言葉でまとめて、それを先生に「こういうことですよ」とよく聞いて、確認していました。